

ドイツ学生囲碁団体戦2005（第3回ハンス・ピーチ・メモリアル）

2005年24、25日、ドイツ北部の都市カストロプ・ラウクセルにて、故ハンス・ピーチ日本棋院棋士6段のご両親の主催による、ドイツ学生囲碁団体戦2005が開催されました。優勝チームは、エルディングのアンネ・フランク・ギムナジウムで、メンバーは、マティアス・キアン（4級）、マクシミリアン・ドライアー（6級）、コルビニアン・リープル（12級）です。

今年カストロプ・ラウクセルで行われた学生囲碁団体戦2005（第3回ハンス・ピーチ・メモリアル）は、これまでで最多の24チームの参加がありました（2003年には14チーム、2004年には16チームが参加）。今年から社団法人 go4school が大会運営を行い、ドイツ囲碁連盟は支援者として関わることになりました。カストロプ・ラウクセルのホルスト・ティムさんの豊富な経験に基づいた指揮により、参加者のいろいろな問題をきめこまかく調整することができました。特に go4school のウェブサイト上で申し込み手続きができるよう改良したため、参加者は50パーセント増えました。参加者の皆さん全員にとって素晴らしい大会になったことを願っています。

多くのボランティアと引率の方々、ピーチ家の皆さん、ドイツ囲碁連盟、そして3つの州立団体、いくつかの学校支援団体、カストロプ・ラウクセル貯蓄銀行、ドイツ囲碁連盟ハンブルク支部「サルスベリ会」のカンパ提供者の皆さんが、準備段階からの支援者として、大会の運営・財政面での成功のために協力して下さいました。

プロ棋士の小林千寿5段、重野由紀2段のお二人、後援者のハンス・コシュニク氏、ならびにカストロプ・ラウクセルの市長に感謝いたします。また、日本棋院、カールセン出版、ヘープザッカー出版、ソルトレークシティの株式会社スマート・ゴおよびドレスデンのデリカテッセン工場ドクター・デルからは、物的支援をしていただきました。

優勝したのは、エルディングのアンネ・フランク・ギムナジウム（メンバーはマティアス・キアン、マクシミリアン・ドライアー、コルビニアン・リープル、引率は go4school 役員でもあるカール・シャイトラー）でした。このチームは過去二回の大会で二度三位になっていましたが、今回三度目の正直でついに優勝しました。心からおめでとう！準優勝は地元のカストロプ・ラウクセルのヴィリー・ブランツ総合学校（ヨシュア・ヘナケス、ラファエル・ゲーベルト、サシャ・ラルコフスキー）、三位はベルリンのライプニッツ・ギムナジウム（ヨハネス・オーベナウス、アントン・ザガルチク、ヤニク・ボロスケ）でした。（昨年優勝したコブレンツのチームは、クラス旅行のため参加できませんでした。）

ハンデ戦の部でピーチ賞を獲得したのはオッフエンブルク商業学校、第二位はランクライゼス・パルヒム職業学校、オルデンフェルデ第一ギムナジウム、ベルリンのアンネ・フランク高校、ドレスデンのベルトルト・ブレヒト・ギムナジウムの4校が分けあいました。

5勝したのは、ヨハネス・オーベナウス3段（ベルリンのライプニッツ・ギムナジウム）、マキシミアン・ドライアー6級とコルビニアン・リープル12級（エルディングのアンネ・フランク・ギムナジウム）、パトリック・フォドル12級（ウンターグリースバッハ・ギムナジウム）、アンドレ・フーレンドルフ16級（カストロプ・ラウクセル第二）、マルコ・シェプル16級（ベルリンのアンネ・フランク・ギムナジウム）の6名。12人の学生が4勝1敗でした。

ホルスト・ティムとクレメンス・ヴィンクルマイアーの編集協力による大会報告と、大会アンケートの集計結果が、次々号のドイツ囲碁連盟の機関誌に掲載される予定です。他にプレス記事としては、ルール地方ニュースと西ドイツアルゲマイネに9月25日付けで、ミュンヘンメルクーアに9月29日付けで記事が出ています。カールセン出版のマンガ雑誌「バンザイ」にも、近々、短い大会報告が載る予定です。参加者の皆さん、心からおめでとう、引率の方々および協力者の皆さん、本当にありがとうございました。

さて楽しみなのは来年の大会です。次回の開催地については追ってお知らせすることになりますが、ともかくカストロプ・ラウクセルよりは南になる予定です。今のところ、フランクフルト近郊のオーバーウルゼルとヴェルツブルクが有力で、いずれも開催地として素晴らしい場所です。

（ハラルト・クロル・記、浅井英樹・訳）